

代理店通信 28  熊本県

今回はテラセルの販売にご協力頂いている、「株式会社熊本ヤマウ」様からのご意見や感想を紹介します。

## 土地区画整理事業の地盤改良に

## ジオセルマットレス工法

## テラセル® マットレス工法

NETIS 登録番号：CG-160016-A

株式会社熊本ヤマウ 上杉 憲雄（大分県 出身）

### ■ 施工概要

施 主：植木中央土地  
区画整理事業所  
工 事 名：21 街区造成工事  
施工会社：(株)大政工業建設  
使用材料：T-150SP  
MP×2 段(30cm)  
施工規模：約 185㎡



左より鶴崎様、岡嶋様、上杉様

今回、テラセルマットレス工法が採用されたのは、熊本市建設局 都市行政部 植木中央土地区画整理事務所発注の造成工事です。

これは、中心市街地としての立地条件を活かし、魅力ある商業および住環境の整備により、利便性と快適空間を併せ持った中心市街地、中心商業地に再生するために、幹線道路を含めた公共施設の整備改善を行うものです。

当初、コンサルタント様より、宅地造成用擁壁の大臣認定製品『L型擁壁』での割付検討依頼を頂き、合わせて地盤改良の比較検討のお話があり、工法比較の中で『経済性』『施工性』の優位が、テラセルマットレス工法採用の決め手となりました。

発注後は、東京インキ(福岡支店)様に施工指導に来て頂いたおかげで、スムーズな施工ができ、施工業者様にも大変評判がよかったです。

また、熊本県は2年前の平成28年4月14・16日に、震度7を観測する熊本地震が2回もあり、その爪痕は2年経った現在でも完全に癒えてはいません。

被災した宅地の速やかかつ円滑な復旧を目的として、国土交通省、熊本県、熊本市、他自治体が、一丸となって復興支援をしており、わたくし達メーカーも尽力させて頂いています。

災害関連地域防災がけ崩れ対策事業や大規模盛土造成地滑動崩落防止事業においては、造成地家屋の離隔が狭く、みなし道路になっている場合は、4.0m以下の道路幅の箇所も少なくありません。そんな中、軟弱地盤対策として『施工性』に優れたテラセルマットレス工法は、非常にいい対策案です。

今後も、テラセルマットレス工法の拡販と震災復興のために、頑張っていけます。

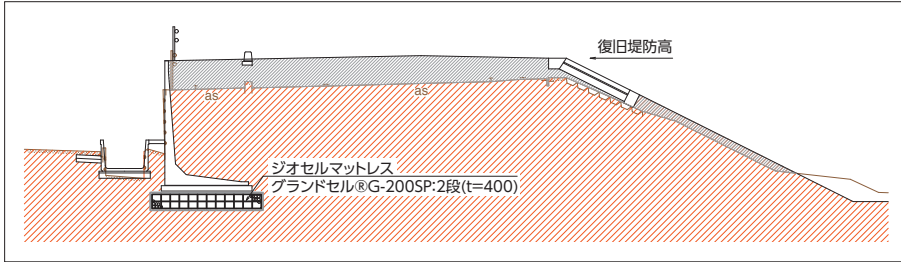


# 震災復旧工事の堤防道路にジオセルマットレス工法採用 グランドセル® マットレス工法

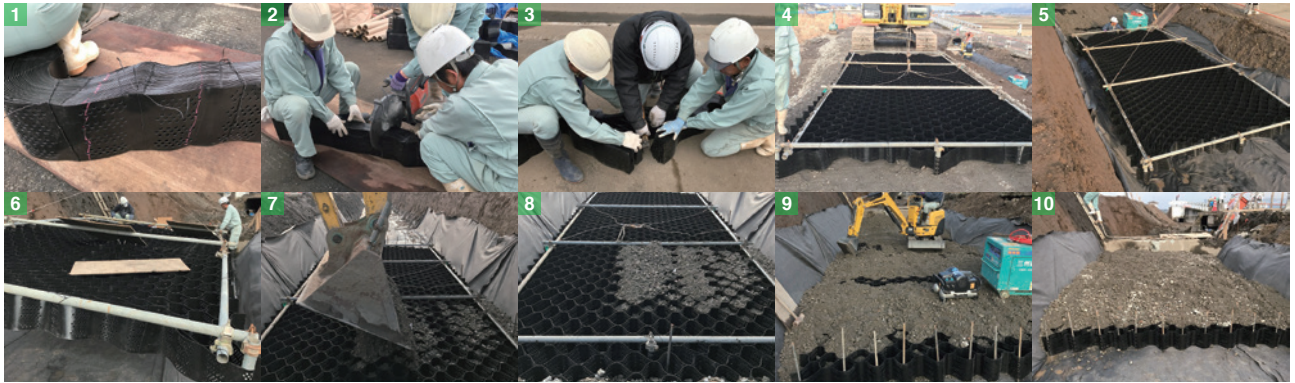
東京インキ株式会社 福岡支店 大山 武志 (福岡県 出身)

2016年4月、熊本県熊本地方を震源とするマグニチュード7.3の地震が発生し、2年の節目を迎え、現在、復旧・復興に向けた工事が至るところで行われております。

熊本震災で甚大な被害が発生した益城町地内を東から西へ流下する一級河川「緑川」の支川である秋津川の堤防道路は、亀裂や沈下、護岸の崩壊、橋脚の座屈等の大きな被害を受け、沈下した堤防の高上げ工事が行われる事となりました。



- 1 切断箇所 位置だし
- 2 エンジンカッター切断状況
- 3 セル接続状況
- 4 展開状況
- 5 吊り上げ状況
- 6 吊卸状況
- 7 撒き出し状況 1
- 8 撒き出し状況 2
- 9 敷均し状況
- 10 敷均し後



堤防道路に構築されていた既存のL型擁壁を取り外し、新設のL型擁壁（一部、補強土壁）にて高上げを行い、その規模は、L型擁壁高さ3.5m、総延長で約2.0kmと非常に長い延長の復旧となり、5工区に工事が分かれて施工されております。

設計当初では、L型擁壁の基礎は、直接基礎（無対策工）にて計画されておりましたが、原地盤が軟弱な粘性土地盤（N値2）であったため、新たに地盤対策工が必要となり、幾つかの基礎対策工の中からNETIS登録工法である「テラセルマットレス工法」が経済性、施工性の観点から採用となりました。なお、使用材料は、新たに製品ラインナップとしてNETISに登録された「グランドセル®」を納入しております。これだけの施工規模は、全国的に見てもあまり事例が少なく、また、新技術工法という事もあり、ジオセル自体はじめて見る触るといった状況の中での施工となりましたが、施工業者様の工夫を生かした方法で施工され、L型擁壁も徐々に据え付けられおります。

## ■ 施工概要

施主：熊本県 県央広域本部  
土木部災害復興第二課  
工事名：一級河川秋津川 28年発生  
河川災害復旧工事  
施工規模：構造物（L型擁壁、補強土壁）  
の総延長約2km

## ■ 使用材料（設計数量）

マットレス施工面積：約12,700㎡  
グランドセル G-150MP：43枚  
グランドセル G-200MP：1枚  
グランドセル G-150SP：186枚  
グランドセル G-200SP：602枚  
トレップ TT-200：15,800㎡

グランドセルマットレス工法は、ハニカム構造を有するジオセルとジオセルに拘束された砕石とのせん断抵抗力により、マットレス上に設置する構造物荷重を分散させ、基礎地盤の鉛直圧縮変形による沈下量を低減させると同時に支持力の増加を図る工法です。一般的な基礎地盤対策工法の置換工法と比べ、対策する範囲を低減できる事が一番の特徴となります。



**東京インキ株式会社**  
TOKYO PRINTING INK MFG. CO., LTD.

<http://www.tokyoink.co.jp>

本社 / 〒114-0002 東京都北区王子 1-12-4 TEL.03-5902-7627  
札幌営業所 / 〒065-0020 札幌市東区北二十条東 18-2-1 TEL.011-784-7772  
仙台営業所 / 〒980-0801 仙台市青葉区木町通 2-1-18 TEL.022-274-3531  
新潟営業所 / 〒950-0087 新潟市中央区東大通 1-2-25 TEL.025-245-3141  
名古屋支店 / 〒460-0022 名古屋市中区金山 1-12-14 TEL.052-331-1515  
大阪支店 / 〒543-0013 大阪市天王寺区玉造本町 1-28 TEL.06-6761-0077  
広島営業所 / 〒732-0827 広島市南区福荷町 5-18 TEL.082-568-4400  
福岡支店 / 〒816-0912 福岡県大野城市御笠川 3-13-5 TEL.092-503-8979